

文献情報							
表題・資料名							
Phosphorus cycling in a Mexican tropical dry forest ecosystem							
部会	G3	文献ID	R1037	観測ID	S001	公表年	2001
著者名							
Campo et al.							
収録雑誌名							
Biogeochemistry							
巻号	53	ページ	161-179				
地点情報と流域情報							
都道府県	Pacific coast of Mexco						
経度		緯度		標高(m)	50-100		
流域名	Chamela Biological Station						
流域面積(ha)	12 - 28 (5つの隣接する流域)	平均勾配	26 °	流域延長 ( km )			
主要樹種	主に樹高6-10mの落葉樹(Leguminoseae)から...		林相コメント	Tropical dry forest			
地質情報	Tertiary volcanic rocks of rhyolitic an...		地質コメント	土性は砂壤土			
年平均気温 ( )	24.9	年平均雨量(mm/y)	752				
時期と調査方法							
観測開始	1990	観測終了	1995	観測期間	6年		
採水頻度	出水イベントの後に採水						
採水方法	その他						
流量観測頻度							
流量観測方法	実測値・ その他 5つの各流域で量水観測						
気象観測方法							
気象観測コメント							
降雨時調査							
調査の実施	x	採水方法					
降雨時調査回数							
降雨時調査の内容							
対象項目							
N		P		有機物	その他		
全窒素 TN		全リン TP		T-COD(Mn)	SS		
溶存態窒素 DN		溶存態リン DP		D-COD(Mn)			
無機態窒素 DIN		PO4-P		TOC			
硝酸性窒素				DOC			
硝酸性・亜硝酸性窒素							
アンモニア性窒素							
その他		その他		その他	その他		
流域へのインプット量 (降雨等)							
窒素							
全窒素 TN		単位		コメント			
溶存態窒素 DN		単位		コメント			
無機態窒素 DIN		単位		コメント			
硝酸性窒素		単位		コメント			
硝酸性・亜硝酸性窒素		単位		コメント			
アンモニア性窒素		単位		コメント			
その他		単位		コメント			
リン							
全リン TP		単位		コメント			
溶存態リン DP	0.156 (0.028)	単位	kg/ha/yr	コメント	5つの流域の平均値・括弧の数値は5つの流...		
リン酸態リン PO4-P		単位		コメント			
その他		単位		コメント			
有機物							
T-COD (Mn)		単位		コメント			
D-COD (Mn)		単位		コメント			
TOC		単位		コメント			
DOC		単位		コメント			
その他		単位		コメント			
その他							
ss		単位		コメント			
その他		単位		コメント			

原単位（年流出負荷量）

窒素					
全窒素 TN		単位		コメント	
溶存態窒素 DN		単位		コメント	
無機態窒素 DIN		単位		コメント	
硝酸性窒素		単位		コメント	
硝酸性・亜硝酸性窒素		単位		コメント	
アンモニア性窒素		単位		コメント	
その他		単位		コメント	
リン					
全リン TP	0.07	単位	kg/ha/yr	コメント	
溶存態リン DP	0.064 (0.031)	単位	kg/ha/yr	コメント	5つの流域の平均値．括弧の数値は5つの流...
リン酸態リン PO4-P		単位		コメント	
その他	0	単位	kg/ha/yr	コメント	懸濁態リン．1993-1994の2年間のみ計測...
有機物					
T-COD (Mn)		単位		コメント	
D-COD (Mn)		単位		コメント	
TOC		単位		コメント	
DOC		単位		コメント	
その他		単位		コメント	
その他					
ss		単位		コメント	
その他		単位		コメント	

負荷算出方法等

負荷算出方法	
period-weighted method(refer to Aulenbach&Hooper 2006 HP)	
コメント	
1. P収支を評価すること;2. Pの内部循環における林内雨やリターフォールの重要度を把握すること	

日本水環境学会 (2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究  
 注：データを引用するには必ず元文献をご確認ください。